

# データドリブン・イノベーションとAI ネットワーク開発・利用ガイドライン

須藤 修 (Sudo, Osamu)

AIネットワーク社会推進会議 議長  
東京大学大学院情報学環 教授

## 【要旨】

日々生み出される膨大なデータを利活用することによって、グローバルな産業構造は変化し、都市構造、エネルギー需給、医療の在り方もライフスタイルも変化する。まず私自身が従事してきたマシンラーニングを用いた予防医療の研究（科研特定領域研究「情報爆発」）とマシンラーニングを用いた多言語音声翻訳（VoiceTra の開発と普及）について紹介する。そしてIoT、クラウドコンピューティング、ビッグデータ分析、AIを活用したネットワークの深化に伴う社会システムの発展と課題について、その動向を紹介する。したい。そのうえで、日本政府総務省「AIネットワーク社会推進会議」議長として、今後グローバルな規模で発展するAIネットワークの在り方（研究開発と利用のガイドライン）の検討と課題について考察する。